

参議院鹿児島県選出議員選挙公報

鹿児島県選挙管理委員会

(この選挙公報は、公職選挙法第百六十九条第二項の規定により、候補者から提出された原文のままを掲載したものであります。)



幸福実現党

まつざわわ力

まつざわわ力は 34歳 比例は

3つのビジョンでみなさまの幸福を実現します!

- ① **すぐに景気を良くしたいから、消費税を5%に!**
消費増税は、GDPの約6割を占める個人消費を冷え込ませ、景気悪化やトータルでの税収減を引き起こしかねません。消費税10%への増税の延期ではなく、5%への引き下げを断行すべきです。
- ② **平和を守り抜きたいから、しっかり国防!**
北朝鮮、中国の急速な軍備拡張に対する「抑止力」を強化します。また日米同盟を堅持しつつ、憲法9条を見直し、「自分の国は自分で守れる」「普通の」主権国家を目指します。
- ③ **若い世代の雇用・育児政策の充実!**
民間の活力や企業を妨げる「規制」を徹底的に見直し、また、新たな基幹産業・未来産業に大胆に投資し、雇用を生み出します。住宅・教育・交通・保育所などの社会インフラを充実させ、子供を育てやすい環境をサポートします。

一緒に変えよう。政策はある。幸福実現党 公式サイト hr-party.jp

幸福

とお書きください

まつざわわ力プロフィール 1982年4月11日生まれ。出身校:草牟田小学校・伊敷中学校・甲南高校・鹿児島大学農学部生物環境学科。



自民党公認候補

のむら哲郎

のむら哲郎 4つの想い

- Ⅰ **農政新時代の「元気ふるさと」をつくります!**
鹿児島の基幹産業である農業を元気にし、消費者に安心して安全な国産農畜産物を安定的に提供するとともに、農工商の連携により新たな商品開発や販路の拡大など、垣根を超えたチャレンジへの支援を強化し、農政新時代の「元気ふるさと」をつくります。
- Ⅱ **医療・福祉・介護等の社会保障制度を充実し、活気に満ち生きがいのある社会を目指します!**
子どもたちがいきいきと生活し、お年寄りが「長生きしてよかった」と思える環境づくりを進めるため、医療・福祉・介護等の社会保障制度を充実し、活気に満ち、生きがいのある社会を目指します。
- Ⅲ **災害に強い地域づくりを進め、安全で安心して暮らせる街づくりを目指します!**
台風・豪雨や火山災害等から地域の暮らしを守るため、防災対策と発災時の復旧対策の充実に取り組みます。また、鹿児島の美しい景観や、長い歴史の中で培ってきた文化を守り、魅力ある鹿児島をつくります。
- Ⅳ **国民の命と平和な暮らしを守ります。**
複雑化・多様化する国際社会の中にあって、国際紛争やテロから国民の命と国益を守るとともに日本の平和を維持し、国民一人ひとりが安心して暮らせる社会の実現につとめます。

のむら哲郎プロフィール
生年月日 昭和18年11月20日生まれ 趣味 落語・家庭菜園
出身地 霧島市隼人町 学歴 中福良小学校(隼人町)
現住所 鹿児島市吉野町 ラ・サール中・高校卒業
略歴 平成11年 鹿児島県農協中央会 常務理事
平成16年 参議院議員 当選
平成20年 農林水産大臣政務官
平成22年 参議院議員 当選(2期目)
平成26年 自民党副会長代理

一人ひとりの生きがい。その集まりが地域を作ります。そして、地域の集まりが国を動かしていきます。政治の原点はつねに人。あなたの今日の生きがい、明日への希望にこたえるのが政治の役目と信じています。この想いは私が「あぜ道政治」を信条とし、政治を志した十二年前から何も変わりません。故郷とともに生きる人たちが、がんばり、語りあつてきた人たちの身近な声を、国政へ届けます。みなさまにもっと生きがいを、ふるさとをもっと元気に！その実現に、本気で取り組みます。

野村哲郎



しもまち

下町かずみ

(56歳)

政権の暴走を止める。

拝啓、「しもまち」です。私は、今度の参議院選挙は、安倍首相とのたたかいたと考えています。安倍首相の政治に不安・不満や疑問を持つ方はぜひ、私に投票してください。

この選挙では、安倍政権の暴走に歯止めをかけようと、多くの市民団体や政党が力を合わせています。鹿児島でも市民団体と民進党、共産党、社民党が一致して私を応援してください。あなたもこのたたかいに参加してください。



Shimomachi Style
集団的自衛権の撤回と安保関連法の廃止を。若者が安心して仕事と結婚、出産、子育てできる社会へ。子どもの貧困を解消して、進学の違いと夢の実現。TPPからサトウキビやコメ、畜産業などを守る。社会保障の引き下げを行わず、現場で働く人の処遇改善。同一労働・同一賃金の実現で、格差を是正する。地図の上に鹿児島があっても政治の離島は許さない。

一念發起

プロフィール しもまち

下町かずみ

1960年(S35) 2月6日(56歳)
薩摩川内市(旧川内市) 西方町生まれ
現在、鹿児島市伊敷団地に住む
■1978年3月 県立川内高校卒業
■1982年3月 鹿児島県立短期大学II部 商経科卒業
■1978年4月 農林水産省鹿児島食糧事務所 入所
■2008年9月 農林水産省九州農政局 鹿児島農政事務所 退職
■2008年10月 連合鹿児島副事務局長就任
■2010年~2012年 県PTA連合会 総務委員長
■2013年10月 連合鹿児島事務局長 就任 現職

平成二十八年七月十日執行

参議院鹿児島県選出議員選挙公報

鹿児島県選挙管理委員会

(この選挙公報は、公職選挙法第六十九条第二項の規定により、候補者から提出された原文のままを掲載したものであります。)



無所属

坂田 英明

さかた ひであき

少年法、刑法39条の廃止を

- ・事件の凶悪化、凶悪事件の犯罪者の再犯が目につきますが、これらは少年犯罪、精神耗弱者による犯罪に対する量刑が軽すぎるのが原因です。
- ・事件による被害は被害者、その家族だけではなく、第二第三の被害者となるかもしれない国民、更には取り締まる側の方達もふがい無い思いをしています。
- ・少年法、刑法39条を廃止し、各罰則の強化、特に詐欺やストーカー行為に対する罰金刑の大幅な見直しが必要です。

これらを実現するには

- ・今話題の外添都知事の辞職騒動に限らず、若者の貧困化や高齢者の万引き、少子高齢化問題、生活保護受給問題やごね得社会、さらにはパナマ文書に代表されるタックスヘイブン問題などを突き詰めていくと、その殆ど全てが、財界から政界への寄付金を容認する政治資金規正法から派生していることは周知の事実です。また、政治家個人のお金を一旦政治資金団体へ移し、それを別の政治資金団体との統廃合を繰り返すことで遺産相続等に税金がかからないようにすることも、政治資金規正法によって容易に行うことが可能であり、結果、議員の世襲化を招き、事なかれ主義の議員が増え、時代の変化にそぐわない政治が蔓延することにもつながっています。
- ・政治資金規正法を突き崩さない限り、先に記した国民のための政策の実現は極めて困難です。しかし、殆どの政党はそれをやろうとしません。ではどうすれば国がよくなるか？やはり我々国民自身が国政に直接参加して戦うしかない私は考えます。普通の国民が選挙を介して国政に参加し、例えば、二世議員の排出を許さない政党、安穏とした政治活動を行う温床である選挙区の地盤固めを許さない政党、今や単なる数集めのためのツールと化している比例代表選挙だけを古参議員の枠として、地方選挙は新人の採用ツールとして活用する政党、党员選挙のみによって比例代表選挙区の候補者順位を決める政党、規制緩和を地で行く政党、国民主体の政党を作り、今の政党政治を変えていく必要があります。
- ・シャープでは、たった数人の経営陣によって会社が傾き、大半の社員がリストラにおびえる日々を過ごしています。では国が犯す失策を、我々国民は黙ってみているしかないのでしょうか。生じた損失を黙って支払うしかないのでしょうか。今、自分のことを社畜という方が増えています。そういう方たちの中には、今の手取りと今後の昇給を想像して、おそらく自分は死ぬまで働くことになるだろうと悲観している方が沢山居ます。今でさえそうなのです。今後政府がさらに押し進めていくと言っている政策、経団連の方たちが政府に提言している政策が現実になれば、更に大変なことになります。それを、我々は黙ってみているしかないのでしょうか。
- ・やはり、普通の国民が自身の手で、今の日本を、20年もの間停滞している世の中を変えていくべきだと、私は考えます。

アベノミクスは成功したのか

- ・アベノミクスは成功だ、直近の実質賃金の推移を見ても回復基調にある、と国は言っていますが、それはあくまで1%にも満たない数値であり、アベノミクスがスタートした2012年からの累計で数えると、実は5%下がっています。
- ・一方で、株価は上がったんだから景気は良くなったはずだという声が聞こえますが、それは国民年金の積立金の一部を株式購入にまわしたことや、派遣法改正など規制緩和によって雇用者や零細事業者の所得を減らし、その分を会社の増益に回したから株価が上がっただけであり、我々国民からみると景気はむしろ悪くなったと思います。

今なすべきは規制緩和ではなく規制強化

- ・ここ20年、日本は構造改革、規制緩和、緊縮財政をずっと続けております。その結果、他の国との経済的な開きというのが随分と拡大しました。日本は実質賃金が10%以上減ったのに対して、アメリカは6割、ドイツは4割上がりました。韓国は3倍、中国にいたっては8倍にもなりました。(但し、中韓は1人あたりGDPの増加率を記載。)
- ・今の労働者の5人に2人は非正規雇用者です。今の非正規雇用者の平均年収は168万円です。当然給料を大幅に上げる方向に押し進めるべきですが、それには非正規雇用者を多く雇っている企業、特にフランチャイズ契約によって泣きを見ている事業者、あるいは多国籍企業に押されて息も絶え絶えの事業者を、規制によって守ってからでないという事は出来ません。もちろん、中抜き規制も行わないといけません。

消費税は廃止へ

- ・消費税の特性上、還付金制度というものがあります。これは国外へ輸出する製品を製造するために必要な材料・部品を仕入れる際に含まれている消費税を還付するという制度ですが、この制度によって、輸出企業は毎年多額の還付金を非課税で受け取っています。この制度は、消費税率が引き上げられれば当然増加する性質のものであり、我々国民の負担増と比べるとあまりに不平等な制度です。
- ・そもそも、行き過ぎた規制緩和によって生じた雇用の縮小、給与水準の低下の情勢下で、一般的な生活水準の国民から主に徴収する消費税を増税の柱とすること自体、無謀な政策です。お金は余裕のあるところから徴収して、国家としての中立性、公平性を示すことで初めて、我々国民が納得できるのです。

第24回参議院議員通常選挙

◎投票日 **7月10日(日曜日)** 午前**7時00分**～
(終了時間は各市町村選挙管理委員会へお問い合わせください。)

◎期日前投票 **6月23日(木曜日)～7月9日(土曜日)**

午前8時30分～午後8時まで
(一部地域を除きます。)

鹿児島県選挙管理委員会